

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	907	0	911	0	905	0
備蓄米	3	0	0	0	0	0
飼料用米	15	0	15	0	15	0
米粉用米	5	0	5	0	5	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	1	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	46	0	46	0	47	0
麦	0	0	0	0	0	0
大豆	1	0	1	0	1	0
飼料作物	1	0	1	0	1	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	22	0	22	0	22	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	9.5	0	9.1	0	9.5	0
・野菜	7.9	0	7.7	0	8	0
・花き・花木	1.6	0	1.4	0	1.5	0
・果樹	0	0	0	0	0	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1	0
畑地化	1.1	0	0.2	0	3	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	令和6年度	令和8年度
				前年度（実績）	目標値
1	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	低コスト生産支援	作付面積（合計）	66ha	68ha
2	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	団地化加算	団地化面積（合計）	-	45ha
3	そば	生産性向上支援 （団地化面積1ha以上）	取組面積・単収	20.4ha 33.0kg/10a	22ha 55.0kg/10a
4	野菜・花き・花木・その他作物（ライ麦）	作付拡大支援	作付面積	8.7ha	11ha
5	ユリ（切り花）	生産性向上支援	団地化面積・単収	1.2ha 上位等級12,600本/10a	1.5ha 上位等級13,500本/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:新潟県

協議会名:関川村農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	低コスト生産支援	1	6,000	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	別紙に定める低コスト生産メニューのうち、3つ以上に取り組むこと(整理番号2との重複不可)
2	団地化加算	1	団地化面積50a以上1ha未満:7,000 団地化面積1ha以上:8,000	加工用米・米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米	別紙に定める低コスト生産メニューのうち、3つ以上に取り組むこと、作物ごとの団地化50a以上1ha未満・団地化1ha以上(整理番号1との重複不可)
3	生産性向上支援 (団地化面積1ha以上)	1	4,000	そば	排水対策、団地化1ha以上
4	作付拡大支援	1	7,000	野菜・花き・花木・その他作物(ライ麦)	作付出荷 ライ麦は重要な病害防除(赤かび病)に取り組むこと
5	生産性向上支援	1	7,000	ユリ(切り花)	30a以上の作付取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

## 8 産地交付金の活用方法の明細

### 1. 地域農業再生協議会名

関川村農業再生協議会
------------

### 2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
関川村農業再生協議会	4,898,000	4,898,000	#REF!

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

#### 4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

◆整理番号1～整理番号5の用途で、上限単価までの範囲で一律増額調整を行う。

#### 5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

◆以下の単価調整係数を用いて交付単価を一律減額調整することとする。  
「単価調整係数(小数点第5位以下切捨て)＝配分額/整理番号1～5の所要額」  
◆ただし、減額調整後の実績額が配分額を下回る場合は、単価調整係数を用いて増額調整を行う。

#### 6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会		整理番号	1		
使途名	低コスト生産支援					
対象作物	米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米・加工用米 ※基幹作のみを対象とする。					
単 価	6,000円/10a （上限7,000円/10a）					
課 題	<p>当地域においては、長年主食用米の全量取引が順調に推移してきたことと、兼業農家が全体の98%を占めていることがあり、非主食用米の取組農家の増加には至っていなかった。しかし、農家数の減少により、担い手への集中負担増、農地維持力の低下や農家所得の不安定につながる恐れがある。農家経営の安定化を進めるためには、主食用米と同等の収益性を確保する必要があるため、本支援によりコスト低減を推進する必要がある。</p>					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	作付面積 (合計)	目標	-	67ha	66ha	68ha
		実績	-	66ha	-	-
内 容	低コスト生産の拡大に向け、加工用米、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米への生産において、低コスト生産メニューに対応した農家へ助成をする。					
具体的要件	<p>対象作物 ・加工用米、新規需要米</p> <p>取組の要件 ・別紙に定める低コスト生産メニューの内、3つ以上に取り組み、実績書類を提出すること。 ・整理番号2との重複は不可。重複した場合は、整理番号2の支援を優先する。</p>					
取組の 確認方法	<p>助成対象者 営農計画書で確認。</p> <p>対象作物 加工用米等取組計画書により確認。</p> <p>助成対象水田 営農計画書、現地確認。</p> <p>取組の要件 取組を確認できる写真、種子や資材の購入伝票、栽培記録や作業日誌の写しの提出により確認。</p> <p>出荷販売 加工用米等生産出荷数量一覧表により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>・取組者が提出する、低コスト生産取り組み実績・営農計画書で確認する。</p> <p>・令和7年12月末日までに、加工用米等生産出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。</p>					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ **令和7年度**から新規に設定した目標については、**令和5～6年度**の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会		整理番号	2		
使途名	団地化加算					
対象作物	米粉用米・飼料用米・新市場開拓用米・加工用米 ※基幹作のみを対象とする。					
単 価	団地化面積50a以上1ha未満		7,000円/10a		(上限8,000円/10a)	
	団地化面積1ha以上		8,000円/10a		(上限9,000円/10a)	
課 題	<p>当地域においては、長年主食用米の全量取引が順調に推移してきたことと、兼業農家が全体の98%を占めていることがあり、非主食用米の取組農家の増加には至っていなかった。しかし、農家数の減少により、担い手への集中負担増、農地維持力の低下や農家所得の不安定につながる恐れがある。農家経営の安定化を進めるためには、主食用米と同等の収益性を確保する必要があるため、本支援により担い手へのほ場の利用集積・集約による低コスト生産取組を推進する必要がある。</p>					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	団地化面積 (合計)	目標	-	-	40ha	45ha
		実績	-	-	-	-
内 容	加工用米、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米について、団地化して、低コスト生産に取り組んだ農家を支援する。					
具体的要件	<p>対象作物 ・加工用米、新規需要米          取組の要件 ・50a以上の団地化・1ha以上の団地化を図ること。          ・別紙に定める低コスト生産メニューの内、3つ以上に取り組むこと。取組み実績を提出すること。          ・整理番号1との重複は不可。重複した場合は、整理番号2の支援を優先する。</p>					
取組の 確認方法	<p>助成対象者 営農計画書で確認。          対象作物 加工用米等取組計画書により確認。          助成対象水田 営農計画書、現地確認。          取組の要件 取組を確認できる写真、種子や資材の購入伝票、栽培記録や作業日誌の写しの提出により確認。団地化については航空写真等により確認。          出荷・販売 加工用米等生産出荷数量一覧表により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>・取組者が提出する、低コスト生産取組み実績          ・団地化面積については航空写真と水田台帳により確認          ・令和7年12月末日までに、加工用米等生産出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。</p>					
備考	支援年限は設定していない					

- ※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
- ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
- ※ 令和7年度から新規に設定した目標については、令和5～6年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会		整理番号	3		
使途名	生産性向上支援（団地化面積1ha以上）					
対象作物	そば ※基幹作のみを対象とする。					
単 価	4,000円/10a （上限5,000円/10a）					
課 題	そばについては、一定の需要があるものの、湿害による収量の減少やほ場分散による作業効率の低下等の課題があるため、周囲明渠等の排水対策に取組み、団地化を進め生産性の向上を図る必要がある。					
目 標	・取組面積 ・単収	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績	-	11.9ha 45.0kg/10a	20.5ha 50.0kg/10a	22ha 55.0kg/10a
内 容	水田の効率的な利用に向け、そば生産性向上を図るため、具体的要件に定める取組のうち1つを実施し、個人及び団体にて1ha以上の団地化を図った面積に対して加算助成をする。					
具体的要件	助成対象者 取組の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。</li> <li>・「周囲明渠、溝切、高畝の設置、畝立て播種機の活用」のいずれか1つの実施。 ※溝切については、作付ほ場の地形にもよるが最低2本以上設置すること。 ※対象ほ場における作業実施写真を提出すること。</li> <li>・個人及び団体により1ha以上の団地化を図ること。</li> </ul>				
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 取組の要件 出荷・販売	営農計画書、共済細目書等の書類で確認。 計画書及び現地確認、共済細目書等の書類で確認。 実施写真、出荷・販売契約書、現地確認等により行う。 水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書により確認。				
成果等の 確認方法	・令和7年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。  ※単収＝取組を実施したほ場におけるそばの収量÷取組を実施したそばの総面積					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ **令和7年度**から新規に設定した目標については、**令和5～6年度**の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会			整理番号	4	
使途名	作付拡大支援					
対象作物	高収益作物（野菜、花き・花木（別紙参照））、その他作物（ライ麦） ※基幹作のみを対象とする。					
単 価	7,000円/10a （上限8,000円/10a）					
課 題	不作付地の抑制と、農家の所得を確保するため、高収益作物である野菜、花き・花木とその他作物（ライ麦）の生産を振興する。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	作付面積	目標	11.5ha	9.2ha	10ha	11ha
		実績	8.9ha	8.7ha	-	-
内 容	不作付地の解消や園芸作物の作付けによる農家所得の向上を目的として高収益作物の作付面積や、生産性向上に取り組むその他作物（ライ麦）の作付面積に対し定額助成を行う。					
具体的要件	助成対象水田 対象作物 取組の要件	経営所得安定対策等実施要綱（別紙1）に定める水田。 別紙（整理番号4 作付拡大支援 対象高収益作物一覧）に記載の作物およびその他作物（ライ麦）。 その他作物（ライ麦）については重要な病害防除（赤かび病）に取り組むこと。				
取組の 確認方法	助成対象者 助成対象水田 出荷・販売 取組の要件	営農計画書で確認。 営農計画書及び現地確認、作業日誌等の書類で確認。 水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書により確認。 現地確認、作業日誌、農薬購入伝票等の書類で確認。				
成果等の 確認方法	・令和7年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。  
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。  
 ※ **令和7年度**から新規に設定した目標については、**令和5～6年度**の目標の記載は不要です。

### 産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	関川村農業再生協議会	整理番号	5			
使途名	生産性向上支援					
対象作物	ユリ（切り花） ※基幹作のみを対象とする。					
単 価	7,000円/10a （上限8,000円/10a）					
課 題	現状では、中山間地域という地形的な要因から園芸作物の団地化が進んでいない状況である。そのため、園芸作物の生産ほ場の団地化を支援し、作業効率をアップさせることにより、園芸作物の生産による所得を拡大する必要がある。					
目 標			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	・ 団地化面積 ・ 単収	目標	1.5ha 上位等級8,200 本/10a	1.2ha 上位等級8,250 本/10a	1.2ha 上位等級13,200 本/10a	1.5ha 上位等級13,500 本/10a
実績		1.1ha 上位等級6,045本 /10a	1.2ha 上位等級12,600 本/10a	-	-	
内 容	振興作物である対象作物の団地化による作付定着化と生産性向上を図るため、対象作物の団地化面積に対して支援する。					
具体的要件	<p>助成対象者 村内の交付対象水田にて対象作物を作付けする農業者。</p> <p>取組の要件 対象作物の団地化申請書（関川村農業再生協議会様式）を提出すること。 助成対象作物ごとに他の農業者からの受託分を含め30a以上作付けしている場合、団地化して取り組んだ面積を対象とする。 また、1人又は複数の農業者で取組む場合も対象とする。</p> <p>※団地化：農地が畦畔で接続、農地が農道又は水路等を挟んで接続、農地が隔々で接続し農作業に大きな支障がない場合、以上のどれかを満たし、かつ要件以上の面積の農地で作付すれば対象となる。 整理番号4との重複は可とする。</p>					
取組の 確認方法	<p>助成対象者 営農計画書で確認。</p> <p>助成対象水田 営農計画書、現地確認、作業日誌等で確認。</p> <p>取組の要件 団地化申請書、ほ場位置図により確認。</p> <p>出荷・販売 出荷・販売伝票又は水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷販売等実績報告書兼誓約書により確認。</p>					
成果等の 確認方法	<p>令和7年12月末日までに、水田活用の直接支払交付金の対象作物に係る出荷・販売等実績報告書兼誓約書や販売伝票で確認する。現地確認及び営農計画書、共済細目書等の書類での確認。</p> <p>※団地化面積＝該当ほ場面積÷対象品目取組者総面積</p>					
備考	支援年限は設定していない					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ **令和7年度**から新規に設定した目標については、**令和5～6年度**の目標の記載は不要です。